

NO. 1 事業名 畑地帯総合整備事業（国補）

箇所・地区名 大野寺^{おおのじ}

1. 再評価調書

事業名	畑地帯総合整備事業（国補）		事業箇所	笛吹市御坂町大野寺	地区名	大野寺	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定		⑤再評価時の評価状況 （平成20年度再々評価） 事業の進展に伴う新たな整備要望に対して、事業計画を大幅に縮小する見直しを行った経過を踏まえると、新規の事業として取り扱うべきであるが、本県農業の中心である果樹の生産基盤の再生が急務であることを考慮すると、やむを得ないと判断される。 今後は、更なるコスト縮減を徹底し厳格な時間管理を行い、見直し案どおり平成23年度の完成に努められたい。			
計画期間	H11～H15	H11～H26	H11～H27					
総事業費	1,333百万円	1,432百万円	1,575百万円					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
本地区は、御坂山地の扇状地に広がる果樹地帯であり、モモ・ブドウを中心に栽培がされている。しかし、傾斜地であり、農道は狭く勾配も急であるため、農耕車両の通行に支障をきたしている。また、山際の急峻な圃場は、区画形状も悪く、営農、維持管理に労力を要している。 このため、農道及び水路整備、区画整理を行うことにより、営農環境を改善し、農作業の効率化や農産物の安定的な生産を図るものである。								
②事業概要								
農道 L= 4,435m W=3.0～6.0m 排水路 L= 554m 集落排水路 L= 447m 区画整理 A= 10.0ha 受益面積 A= 58.7ha								
③全体計画								
	平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度以降		①地域・住民の意向状況 事業の進展に伴い地区内の農家の営農意欲が高まっており、山際の傾斜地での区画整理の要望が出てきている。また、緩傾斜地では、農道整備での営農環境の改善により、営農を継続していく意向の農家も出てきている。 ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針変更 なし ④上位計画・関連事業計画等の変更 第二期チャレンジ山梨行動計画（平成23年10月策定） やまなし農業ルネサンス大綱（平成23年12月改定） ⑤自然環境条件等の変化 なし ⑥その他 なし			
工事内容	農道 L=3,956m 排水路 L=554 集落排水路L=447m 区画整理 A=2.2ha	農道 L=227m 区画整理 A=1.2ha	農道 L=252m 区画整理 A=6.6ha					
事業費	1,365百万円	22百万円	45百万円					
④特記事項								
なし								
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C（H11年度） 1,280百万円/1,271百万円=1.01>1.0 再評価時計画における事業全体B/C（H16年度） 1,160百万円/1,152百万円=1.01>1.0 再々評価時計画における事業全体B/C（H20年度） 1,487百万円/1,301百万円=1.14>1.0 再々々評価時計画における事業全体B/C（H25年度） 1,693百万円/1,536百万円=1.10>1.0 （農林水産省「土地改良の経済効果」より算出 採択基準値1.00以上） 								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p>	<p>⑤今後の事業執行上の問題点</p>																																		
<p>①計画変更等の概要</p> <p>計画変更（平成20年度再々評価） 果樹の生産基盤の再生が急務となっていることから、区画整理、農道整備の追加を行い、総事業費を1,317百万円に変更、工期を平成23年度に延期した。</p>	<p>区画整理の予定箇所に、国営畑かんのパイプラインが埋設されているが、平成22年度に農水省の設計基準改定されたことから、パイプラインの保護工が必要となった。</p>																																		
<p>（事業量）農道897mの増、区画整理10haの増 （事業費）227百万円増（1,090百万円→1,317百万円） （計画期間）3年延長（平成20年→平成23年）</p>	<p>⑥今後の事業の進捗の見込み</p>																																		
<p>軽微な変更 山際の急傾斜の区画整理において、土の切盛り量が多くなったことや、農道の勾配がきつい部分は、土留め構造物が大型になる等の見直しを行ったことにより、国と協議の上、総事業費を115百万円増額した。 また、区画整理に伴う換地計画の同意に日数を要したため、工期を平成26年度に延期した。 （事業費）115百万円の増（1,317百万円→1,432百万円） （計画期間）3年延長（平成23年→平成26年）</p>	<p>残事業費もわずかなこと、また、今後の予算確保も見込めることから、概ね完了できる見込み。</p>																																		
<p>②施工済みの事業内容</p> <p>全体計画のとおり</p>	<p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性</p>																																		
<p>③進捗率</p>	<p>合意形成が進んでいる箇所の区画整理を行い、その換地処分を行うために、事業期間を1年間延長し、平成27年度の完成を目指す。 併せて、畑かん保護工の施工が必要となるため、事業費を143百万円増とする。</p> <table border="1" data-bbox="1585 730 2112 850"> <tr> <td></td> <td>総事業費</td> <td>工期</td> </tr> <tr> <td>現計画</td> <td>1432百万円</td> <td>H26まで</td> </tr> <tr> <td>見直し後</td> <td>1575百万円</td> <td>H27まで</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>143百万円の増</td> <td>1年延長</td> </tr> </table>			総事業費	工期	現計画	1432百万円	H26まで	見直し後	1575百万円	H27まで	増減	143百万円の増	1年延長																					
	総事業費	工期																																	
現計画	1432百万円	H26まで																																	
見直し後	1575百万円	H27まで																																	
増減	143百万円の増	1年延長																																	
<table border="1" data-bbox="208 850 1115 954"> <tr> <td></td> <td>*平成20年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>69.7</td> <td>73.8</td> <td>85.0</td> <td>90.0</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>69.7</td> <td>73.8</td> <td>80.5</td> <td>81.9</td> <td>86.6</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="208 962 1115 1074"> <tr> <td></td> <td>*平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>99.0</td> <td>100</td> <td></td> <td>計画事業費／総事業費*100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>88.0</td> <td></td> <td></td> <td>実績事業費／総事業費*100</td> </tr> </table>		*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計 画	69.7	73.8	85.0	90.0	95.0	実 績	69.7	73.8	80.5	81.9	86.6		*平成25年度	平成26年度	平成27年度	算出方法	計 画	99.0	100		計画事業費／総事業費*100	実 績	88.0			実績事業費／総事業費*100	<p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p>	
	*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																														
計 画	69.7	73.8	85.0	90.0	95.0																														
実 績	69.7	73.8	80.5	81.9	86.6																														
	*平成25年度	平成26年度	平成27年度	算出方法																															
計 画	99.0	100		計画事業費／総事業費*100																															
実 績	88.0			実績事業費／総事業費*100																															
<p>*事業着手年度または再評価、再々評価実施年度 *H25の実績は見込み</p>	<p>区画整理において、切り盛り土量の均衡を図り、地形に合わせた整備を行うことでコスト縮減を図っていく。</p>																																		
<p>④事業の進捗が順調でない理由</p> <p>農作業をしやすく作業時間を少なくするために、従前の散在する土地を集団化して大きな区画にしたり、不整形の土地を耕作しやすい形状に整備すること、また、道路・水路を整備して、ほ場を使いやすく造成する区画整理工事は、地域の要望も強く、同意も得られているため設計を進めてきた。 しかし、整備前に作成する換地計画に伴い、換地後の農地の割り当てなど、地権者間の調整に日数を要した。 換地計画は、地権者全員の同意を得なければならないため、換地計画書の作成に多大な時間を要し、このため工事の着手が遅延した。</p>	<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p>																																		
	<p>なし</p>																																		
	<p>(8) 所管部の今後の方針</p>	<p>継続・見直し継続・その他（ ）</p>																																	
	<p>(理由) 樹園地の再編整備は県の主要課題であり、地元要望も高いことから、事業期間を1年間延長し、平成27年度の完成を目指す。</p>																																		

畑地帯総合整備事業 大野寺地区 一般計画平面図



区画整理箇所	現計画 (ha)	見込み (ha)
①	1.0	1.0
②	3.1	0.0
③	1.2	1.2
④	2.5	3.6
⑤	1.2	1.2
⑥	1.0	3.0
計	10.0	10.0

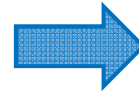
※ ③ 支線道路3号は、前回計上で減

H24年度まで	
H25年度	
H26年度以降	
計画変更時減路線	

凡 例	
受益	
幹線農道	①
支線農道	①
ほ場整備	①
排水路	①
集落排水路	①



支線道路



①着手前

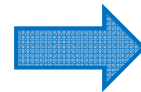
幅員が狭く、舗装が痛んでおり、農耕車の通行や出荷の障害となっていた。

②完成後

農耕車がすれ違える幅員を確保し、舗装により、荷痛みも減少した。



区画整理



③着手前

山際に営農環境が悪く、耕作放棄地となっていた。

④完成後

傾斜地の切り盛りによる農地の整形により、農作業の効率が改善された。

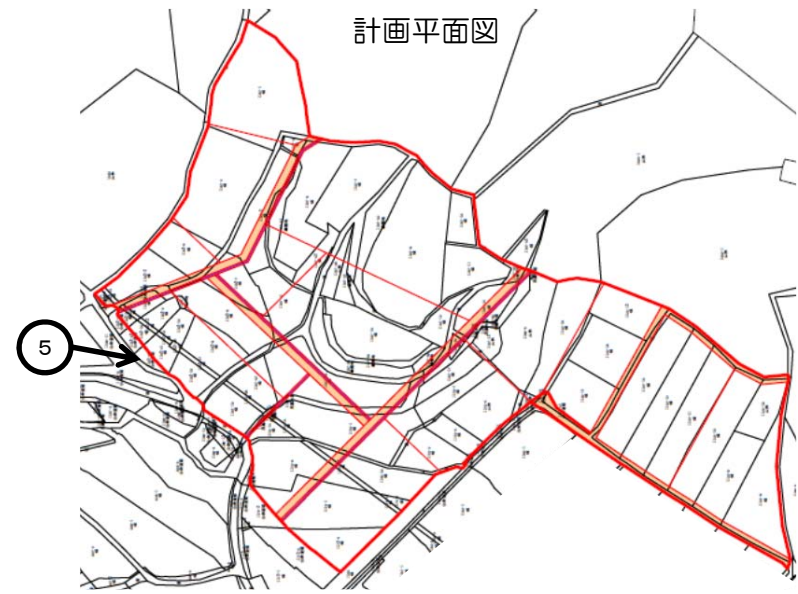
【区画整理予定地】



⑤現況写真
急な傾斜で区画形状も悪く、農作業効率が悪い。



⑥現況写真
農道の幅員が狭く、区画形状も悪いいため、作業効率が悪い。



区画の整形や、傾斜の解消、また、道路整備を行い、農作業の効率化や出荷時の荷痛みを防止する。

凡 例	
—	現況
—	計画
—	農道

① → 写真撮影方向

年度別事業費内訳表

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要
H11	68,250	測量試験費 一式
H12	42,000	集落防災安全施設（排水工） L=447m
H13	42,000	農道 L=190m
H14	84,000	農道 L=120m
H15	63,000	農道 L=217m
H16	115,500	農道 L=279m、排水路 L=554m
H17	157,500	農道 L=560m
H18	131,250	農道 L=232m
H19	283,500	農道 L=704m
H20	110,250	農道 L=1208m
H21	65,100	農道 L=137m 区画整理 A=1.0ha
H22	106,050	農道 L=309m 区画整理 A=1.2ha
H23	21,000	農道（改良） L=107m
H24	75,080	農道（改良） L=120m
H25	22,000	農道 L=227m 区画整理 A=1.2ha
H26	178,020	農道 L=252m 区画整理 A=5.9ha
H27	10,500	換地処分
合計	1,575,000	